

平成25年度B&Gレベルアップ研修会（カヌー編）報告書



2013年10月1日

海洋教育課 山口 雄介

◆ 出張日

平成25年9月28日（土）～30日（月）2泊3日 ※前日準備1泊

◆ 出張場所

・宮崎県宮崎市 みやざき臨海公園 一ツ葉ビーチ

◆ 出張者

- ・事業部 部長 坂倉 一寿
- ・総務課 課長 持田 雅誠
- ・海洋教育課 課員 山口 雄介

◆ 出張の目的

・B&G海洋性レクリエーション指導員を対象に、技術や指導プログラム及び最新情報の提供を目的とした研修を行い、指導力・技術面での向上を図ることにより、地域での艇庫活動を活性化し、地域間のネットワークの親交を深める。

◆ 参加者：21名（内2名は見学）南九州ブロック（熊本県7名・宮崎県9名・鹿児島県5名）より参加

※別途名簿添付

◆ 協力

B&G宮崎シーライオン海洋クラブ 代表 蔵本 政一 氏 他クラブ員

◆ 取材 宮崎日日新聞社 記者 馬場 友理恵 氏

西日本新聞社 記者 泉 修平 氏

◆ 実施スケジュール

日	時間	研修内容	備考
前日準備 (9/28)	14:00	みやざき臨海公園一ツ場ビーチ視察	
	15:00	器材準備	
	16:00	悪天候の為、大淀川視察	

日	時間	研修内容	備考
1 日目 (9/29)	08:30	一ツ場ビーチ 使用水面の状況確認 会場設営	
	10:00	集合・受付（着替・準備）	
	10:30	開講式・挨拶	
	10:40	参加者自己紹介	
	10:50	持田講師 講義「海上でのカヌー」「カヌーの特性について」	
	11:30	坂倉部長 講義「事故防止対策」	
	12:15	昼食	
	13:15	大淀川へ移動（宮崎市役所裏河川敷） ※悪天候のため、実施会場変更	
	13:40	カヌー実技 「基本動作の確認」 「セルフレスキュー」 「バディレスキュー」	
16:40	片付け・振り返り		
日	時間	研修内容	備考
2 日目 (9/30)	08:30	集合・受付・着替	
	09:00	カヌー実技 「セルフレスキュー」 「波の中でのカヌーの漕ぎ方」 「安全面の留意点」	
	11:30	後片付け・閉講式	
	12:00	解散	

◆実施時の天候

1 日目 (9/29)	天候：曇り	2 日目 (9/30)	天候：曇り
	風向：東の風		風向：北東の風
	風速：7～8m		風速：6～7m
	波高：2～2.5m※海上		波高：1.5～2m

◆実施内容

今回の研修会では、台風 20 号の残したうねりと東の海上に発生していた高気圧からの吹き出しにより、想定していたよりも風と波が強く、予定していたスケジュールを変更して研修会を実施することとなった。

1 日目は、午前中を Youtube などのカヌーの映像を用いながら「海上でのカヌー理論」と「事故防止対策」の講義を実施。事故防止対策の中で、指導者には状況に応じてイベントや事業を「中止する勇気」を持つことも安全管理には重要であることを説明。

午後は、会場である一ツ葉ビーチでの実施は危険と判断し、市内を流れる大淀川河川敷へ移動して実技を実

施した。実技では、参加者のカヌー経験年数・習熟度によって2グループに分けて実施した。

Aグループ（上級者）は、「セルフレスキュー」「バディレスキュー」を実施。後方上艇やパドルフロートを用いた乗艇方法の練習を行った。

Bグループ（初級～中級者）は、陸上で「基本動作の確認」を行った後、実際に水面に出て直進・旋回・後進を練習し、カヌーの特性について学んだ。

2日目は、うねりと風が若干落ちたので、予定通り一ツ葉ビーチでカヌー実技を実施した。A・Bグループに分かれて、波のある状況でのカヌーの漕ぎ方を練習した。後半は波に慣れてくることが出来、うねりにカヌーを合わせて波乗りの練習も行えた。本来であると、なかなかカヌーを出艇することが難しいコンディションではあったが普段出来ない練習が出来、参加者のレベルアップに繋がる研修内容を行うことが出来た。

◆参加者の感想（抜粋）

<参加目的>

- ・指導技術の向上、プログラムメニューの幅を広げる為。普段体験できない海でのカヌーを学ぶ為。
- ・自治体でのカヌー等の海洋レクを充実させる為。
- ・現在行っている活動をより活性化させるため。

<研修内容について>

- ・指導者として必須の知識、技術、波の対応を改めて学び大変よかったと思う。
- ・カヌーの基本から学ぶことが出来た。
- ・海の恐さやレスキューのやり方等を学ぶことができた。
- ・B&G普及艇以外の種類のカヌーに乗れる事が出来、カヌーの細かな部分を知ることができた。
- ・テストがあると自信になるのではないか。
- ・定期的な研修を希望する。

<今後希望する内容>

- ・ロープワーク
- ・エスキモーロール
- ・救助訓練

<開催時期について>

- ・この次期は運動会で参加が難しい。8月下旬～9月中旬。もう少し暖かい時期。

◆所感

シーライオンクラブの代表のクラモトさんをはじめ、指導者の方の安全への配慮、現場に必要な器材準備など、さすがに手馴れていて無駄のない動きが安心感を与えた。

今回初めて一般海洋クラブでの開催となり、環境の整ったクラブと各県連協との交流のきっかけにもなった研修会で、今後の事業連携に期待がもてる。(坂倉)

今回のレベルアップ研修会は、悪天候の中の実施となったが、前日準備の段階で代替会場の検討や、実施会

場の変更の判断など、このような研修会を運営する側の私にとっても非常に学べる点があった。研修会を予定していた一ツ葉ビーチのコンディションが悪いのを見た際に、実行か中止かという選択肢の他に海ではなく川でやるという発想や、海洋クラブの方と協議し代替場所を検討していく「現場力」を目の当たりにすることが出来た。また、2日目の実行の判断も1日目で参加者の技量を確認し、風向きなどの安全面をふまえ、ビーチで行う判断を下すなど運営側の判断するポイントを学べることが出来た。また、海洋クラブの皆さんと親睦を深める機会となり、クラブ員の方の活動に対する熱意を研修中の所作や雰囲気から、まじまじと感ずることが出来た。

参加者にとっても指導者として、このようなコンディションでカヌーをする経験はなく、改めて自然の脅威や、安全面について考えて頂ける機会となり、技術面と安全面の双方でレベルアップしたものではないかと感じた。

私自身も、今後指導者としての技量や判断力といった現場で安全に事業が運営していくことが出来る能力を磨いていきたいと感じた研修会であった。(山口)

◆添付資料

- ・参加者名簿
- ・新聞記事（宮崎日日新聞・西日本新聞）

◆写真



みやざき臨海公園 一ツ葉ビーチ



宮崎シーライオン海洋クラブ 倉庫兼艇庫



B&G マイクロバス



開講式



カヌー講座



カヌー講座



事故防止対策講座



大淀川河川敷



大淀川河川敷でのカヌー実技（基本動作の確認・安全管理）



大淀川河川敷でのカヌー実技（セルフレスキュー・バディレスキュー）



一ツ葉ビーチでのカヌー実技（状況確認・リカバリー復習・出艇）



一ツ葉ビーチでのカヌー実技（海上での漕ぎ方・セルフレスキュー・波乗り）



一ツ葉ビーチでのカヌー実技（海上での漕ぎ方・セルフレスキュー・波乗り）



参加者集合写真